



2019.11.5  
NO.634号  
全港湾関西地方  
阪神支部  
大阪市港区築港  
1-12-27  
06-6574-8424  
078-303-0800  
全港湾は一人  
でも入れます

# 阪神支部第56回定期大会

## 自動化による港湾運送事業法の形骸化を許すな！



10月5日から6日にかけて全港湾阪神支部第56回定期大会を神戸ホテルフルーツプラウで開催し、執行部、代議員、傍聴合わせて118名が参加しました。大会議長団には辻内智春氏(サン・トランスポート分会)、本田晃季氏(大洋運輸分

会)が選出され、議事を進めました。中央本部を代表してあいさつに立った松永書記長は、2月に行われた全国港湾中央委員会春闘方針を決定したところから4月14日から15日にかけて決行した48時間ストライキをはじめ7月25日の仮協定までの流れを説明されました。

支部代表あいさつで畠山委員長は、産別最賃問題で全国港湾が中労委に救済申請を行うこと、港湾労働者の月間推計給与額及び月間推計実労働時間の推移、生産年齢人口が1995年から減少し、2053年には総人口が1億人を切ってしまうこと、2018年に労働局や労働基準監督署から是正勧告を受けたトック運送事業社が2017年に比べて増えており、その内の労働時間関係の違反が過半数を占めていること、厚生労働省が2024年に向け、改善基準告示を見直すこと、国土交通省が改正貨物自動車運送事業法に基づき規制を強化する。また荷主勤告制度の発出対象を事業所から事業者に変更する改正貨物自動車運送事業法で2023年度末までに標準的運賃の告示制度導入について説明されました。

また動画資料としてアラブ首長国連邦のドバイで実用化を目指している「ボックスベイ」と呼ばれるヤードスタッキングシステムを2020年のドバイEXPOにあわせてパイロットプロジェクトとしてジュベールのターミナルに導入するという計画がされており、そのイメージCG動画が上映され、完全自動化の

革新的な作業映像を参加者の皆さんは真剣なまなざしで見つめていました。

畠山委員長は「港湾の機械化・自動化に対し、雇用を守ることは勿論だが、あるコンテナヤードは40名のオペレーターがいて自動化してしまつと13名で作業ができてしまつ。自動化によって人数が減り、港湾運送事業法が形骸化されてしまふ。そこところも考えていくべきだ」と提起されたのち、「今大会は皆さんの発言で活発な大会にして頂きたい」と述べられました。

日興サービス分会から「ネット上での名誉棄損」「偽装請負」「西脇氏への一方的な賃金カット」について、ジャパンエキスプレス分会から「全港湾つばしのために管理職組合が結成され、組合員の分断が行われた。今後も攻撃が予想されるが団結して頑張りた



「ボックスベイ」イメージCG動画



19年度方針を確立し、団結ガンバロー

い」と報告がありました。質疑討論においては9名の方から発言がありました。2018年度の主なたがいの経過と総括案、2019年度運動方針案、2018年度の決算報告、会計監査報告、2019年度予算案、秋から年末にかけての闘争方針案、及び支部方針具体化案、大会宣言案が提案され、さらに「憲法改正発議を阻止する決議」案、「8時間働けばいふつに暮らせる社会を実現するための労働者の立場に立つた働き方改革を求める決議」案、「都構想をはじめとする維新政治の転換に取り組む決議」案の3本の特別決議も提案されました。

執行部提案は参加者全体の拍手で採択され、最後は畠山委員長の力強い団結ガンバローで大会は終了しました。

執行委員 坪井 雄志



学校に出掛けていき、だれもいない教室に入ると、黒板に書かれてあったはずの「神州不滅」の文字が消されていた。当時小学生だった精神科医、中井久夫さんの終戦の日の記憶である。つい昨日までたたき込んできた教えに説得力がなかったことを知って恥じたのか、教えた事実そのものを消したかったのか。「こうしたことをする大人に対して嫌な思いがしました」と中井さんの回想にある。神戸市の小学校で明らかになった教員による暴行、暴言のニュースがひどい。同僚に無理やり激辛カレーを食べさせると。コピー用紙の芯で尻をたたき、わいせつなメッセージの送信を強いる。記事を読むうち気がめいり、景色がゆがんで見えてくる。大人の大人がよつてたかつてよくもまあ、ひとの心に寄り添いましょう。友だちと助け合いましょ。教室ではきつとそう話していた先生の、見たくはなかった冷酷さに、聞きたくはなかった陰湿な笑いに、児童たちは目を耳をふさぎたくなつた。た。た。た。再発防止、あるいは「信頼回復」。教育委員会や職員室の黒板に、大字で書かねばならぬ悲しさよ。

# 大会発言

全国一律最低賃金の実現に向けた運動をして頂きたい。

港湾の自動化に伴い、雇用の補償をどのようにしていくのか。

大運分会 園田 兼嗣



トラックドライバーの待遇改善に向けて様々な運動を進めてもらいたい。

インランドデポの調査・視察についてこれからどのような考えをもって行動していくのか。

大運分会 西 真広



トラック・海コンドライバリの労働環境について得意先での荷積み、荷下ろし作業時にはエンジンを切る事が義務付けられている。

しかし、真夏の車中は熱中症にもなりかねない状況となる事がある。最近ではエンジンを切っても作動するパーキングエアコンを装備している車両も出てきている。

エアコン、エアサスを導入させた時と同じように支部が全国に先駆けて装備できるように求めます。

大運分会 上岡 大造



A職の住宅手当未払い問題が解決できたことにお礼を申し上げます。

台風の時に仕事を休むと有給休暇扱いとなる。会社との協議の中では自己都合で休むわけではないから有給扱いではなく、別の休暇の制度を設けるべきだと要求してきた。会社は前例がないとの理由で回答できないとしている。地区港湾とも連携して港湾全体をクロースするようなルール作りはできないのか。支部執行委員会で協議し、全国に発

信してもらいたい。全日神戸分会

河本 英博



六甲C-1の滞留問題について、最後尾がわからないほど並んでいることもあり、乗用車との接触事故も発生している。早急な対応をお願いしたい。

PC-18西デポのアウトゲートで、メーカ専用のブースと一般ブースがあるが、(終了時間前)一列に混在して並んでいる状態になっている。時間に関係なく2レーンで対応はできないのか。

神陸コンテナ輸送分会 井上 友寛



定年延長問題について会

社と協議して63歳までは現行労働条件を引き継ぐことを会社が了承した。さらなる前進を求めていく。

COMPAS(コンパス)新・港湾情報システム)が導入された際、海コンドライバリーにどのような影響が出てくるのか。また、兵庫県に対しても、どれくらいの費用がかかるのか調べてもらいたい。

日本コンテナ輸送分会 百田 倫典



マルチテナント型倉庫とどのようなものか。運賃同盟は今どうなっているのか。コンテナのアライアンスとは。シンケン分会

萩原 幸一



上組のスト破りについて。組合側に謝罪文が出されていると聞いているが、

いまだに公表されていない。日本港運協会の会長店社が自らスト破りを行うなど、組合を軽視している。しか思えない。公の場での謝罪を含め、組合員が納得いく説明をしてもらいたい。

後藤回漕店分会

濱田 健一



青年部は将来の阪神支部の各分会を担う世代に先輩方が築き上げてこられた歴史・意志を継承し育てるべき場であると考えます。

青年部に入り3年目となり、反戦平和問題を中心に活動を行っているが、運動の停滞を感じている。このままでは青年部が消滅してしまうのではないかと感じることもある。

部長になって1年間、このような流れを変えたいという思いで取り組んできたが、現在の体制では限界を感じている。

原因としては青年部会に参加する組合員が少ないこと。200名以上の青年層がいるにもかかわらず、なぜ自分たちだけなのかという思いもある。

参加者が多ければいいというものではないが、今よりもっと活発な意見が得られることが期待できる。

女性組合員の参加も募りながら、青年・婦人部という構想を提案したい。他労組との交流会を企画したいが、予算の問題があり、前向きな検討をして頂

後藤回漕店分会

濱田 健一

10月4日、神戸ホテルフールツラワーに於いて、三四労実務学習会を行いました。

今回は部会内から入江執行委員が講師となり学習を行いました。



入江講師

労働基準法を中心に、安全衛生法や改善基準告示の基本的な部分。また、裁判の判例から整理解雇の4要件や、執行委員として必ず必要となってくる知識。監督に申告に行く際の注意事項等。Ox問題や書き込み方式問題で出題し、回答の理由について詳しく説明されました。

くと助かる。

菱倉運輸分会

篠崎 謙悟



## 三四労学習会

参加者からは、これまで間違って解釈していたこと、忘れてしまっていたこと、知らなかったこと等を再認識する機会となり、学習の大切さを改めて感じました。

これからも三四労部会では部会委員のスキルアップを目的に積極的に学習会を行っていきます。

執行委員 廣渡 信次



理由まで考えながら問題を解く部会員

# 神戸港湾第42回定期大会 更なる団結と 飛躍する神戸港を目指す

10月1日、神戸ホテルフ  
ルーツタワーにおいて阪  
神支部から4名、全体でお  
よそ80名の参加で「神戸港  
湾第42回定期大会」が開催  
されました。

山本副議長の開会あいさ  
つで始まり、議長団には神  
港労連の山本氏、検定地連  
の宮崎氏が選出され、議事  
を進められました。

代表あいさつで吉岡議長  
は、今日の景況状況に触れ  
られた後「今年は港湾職場  
で重大事故が6件も発生し  
た。職場を改善し安全第一



神戸港湾 吉岡議長

変えていく」と、神戸港湾  
としての強い決意が発表さ  
れました。

2018年度経過報告  
決算報告、会計監査報告が  
行われ、2019年度運動  
方針案、予算案が提案さ  
れ、質疑討論に入りました。

それらに関して、「各企業  
の定年延長実施状況につい  
ては、しっかりと把握し中央  
へ報告したい」「今後も運  
動を継承し、スト破りがま  
た行われないように徹底し  
たい」との答弁がありました。

議案は参加者全員の拍手  
をもって採択され、憲法  
改悪、労働法制改悪、社会  
保障の切り捨て、原発再稼  
働、辺野古基地建設に反対  
する 適正料金確保 港労

## 神戸港湾学習会 事前協議制の前身であるKCT闘争に学ぶ

10月2日、全国港湾の玉  
田書記長を講師に招き、  
「産別労使関係・事前協議  
制度を再び考える」KCT  
闘争に視点を置いて」と題  
した学習会が行われまし  
た。

玉田書記長は港湾労組が  
誕生した1946年から機

構想は白紙となり、一船社  
・一港運の合理化は取りや  
めになった。神戸労連が  
「事前協議制度」を要求  
し、元請・事業者の労働組  
合を構成。1979年の  
「5・30協定」を経て、  
1986年の事前協議制度  
の確立の先駆けとなった等  
々を説明されました。

最後に玉田書記長は「産  
別協議体制の再構築へ向け  
て」とし、最大の武器とし  
ては地区港湾があること。  
事業者は「業域確保」を  
組合は「時短」「大幅賃上  
げ」「人員補充」「交代  
制」「職域確保」を掲げる  
べきだとし、「若者に胸を  
張って港湾の職場に来てほ  
しい」と言える誇りある職場  
をつくらう」と力説され、  
学習会は終了しました。

台風15号が千葉県を中心  
に大きな被害をもたらして  
から1か月余り、一時は猛  
烈な勢力にまで発達した台  
風19号は大型で強い勢力を  
保ったまま静岡伊豆半島  
から上陸し、関東、福島県  
を縦断しました。

東北、関東・甲信越、東  
海をはじめ広範囲に甚大な  
被害を引き起こしました。

## 主張

千曲川など多数の河川が  
氾濫して、濁流が住宅地に  
押し寄せました。各地で土  
砂崩れが相次ぎました。

多くの犠牲者を出し、農  
林水産業への打撃も計り知  
れません。

政府は、現場からの切実  
な声を受け止め、きめの細  
かい迅速な対策を取ること  
が求められます。

気象庁は、岩手、宮城  
福島、茨城、群馬、栃木、  
東京、埼玉、神奈川、山

多くの地域で観測された  
24時間雨量は、観測史上最  
多記録を塗り替えました。

台風が強い勢力のまま接近  
・上陸した要因として、日  
本近海の海水温の高さなど  
が指摘されています。地球

この定期大会と学習会を  
通じて合理化による港湾の  
機械化・自動化は私たちの  
職域を奪つものと改めて思  
いました。そして今日まで  
港湾の職場を守ってきた先  
輩方の意志を私たちは受け  
継いでいかなければならぬ  
と強く感じました。

執行委員 坪井 雄志

梨、新潟、長野、静岡の13  
都県に大雨特別警報を出し  
ました。同警報は、数十年  
に1度のような、経験した  
ことのない危険な大雨に際  
して発表される最高レベル  
のもの。

甚大な被害をもたらす台風  
に更なる防災と支援の仕組みを

規模ですすむ気候変動の影  
響を背景に、台風などの風  
水害が激甚化していること  
は深刻です。

そのような状況にあるな  
か、「(被害は)ますます  
で収まった」(自民党二

階俊博幹事長)という発言  
は、被災者が置かれた現実  
からあまりにかけ離れた許  
し難いもので、認識を根本  
から改めるべきです。苦悩  
を深める被災者に心を寄  
せ、励ましとなる支えを強  
めてほしい。

昨年台風21号が阪神港  
の港湾エリアに甚大な被害  
をもたらした。歩み624号  
で詳細をお伝えしました。

平成28年には異例の進路  
をとった台風10号が東北・  
北海道を直撃し、市街地、  
農業・畜産業にも大きな被  
害をもたらしました。

災害が従来と異なる様相  
になる状況下では、防災・  
減災、被災者支援の仕組み  
もこれまでの枠を超えた見  
直し、必要な法改正にも踏  
み出すべきです。防災・復  
旧・復興にこそ、政府は力  
を注ぐべきです。



全国港湾 玉田書記長

# 大阪交運共闘会議 なんば駅頭宣伝行動 市民も興味！大阪にカジノはいらん

阪神支部では、海コンを含む交通運輸業界が抱える諸問題について、過去より積極的な取り組みを行っており、その一環としていくつかの単産組織で構成された大阪交運共闘会議の活動に参加しています。



なんば駅頭でビラ配布宣伝行動

交運共闘には阪神支部の他に、一般トラックやタクシー・バスの運転手、JRの運転士や車掌、航空業界から管制官、国土交通省で働く方など、官民が合同と

なって集結し幅広い議論がされています。

長時間労働や、企業の利益を最優先とした中での安全性の軽視など、業界が抱える課題には共通項も多く、市民の方々に広く知ってもらったため、年に2回ビラ配布の街頭宣伝行動を行っています。10月2日にはなんば高島屋前で秋の宣伝行動を行い、ティッシュ付きのビラ1500枚を配布しました。

阪神支部として、日々慢性的な渋滞が発生している夢洲にカジノや万博を誘致する事は私たちの暮らしと生活を妨げるものであり、誘致には断固反対するとの訴えを行っています。ビラを受け取った方の中には、足を止めて宣伝参加の仲間質問するなどの光景も見受けられました。

## カマヤん 困難事例増える ありむら港



執行部を中心に大阪ブロックの仲間にも参加してもらった形で活動の幅を広げながら、阪神支部の組合員全員の共通認識とした中で議論し、課題の解決や前進に向けての取り組みを強化していかねければなりません。

### 抗議行動の継続と更なる強化へ

## 組合潰しは絶対に許さない！

また、行政に対しての要請行動なども行っており、今後の交通運輸に携わる者の労働条件改善や地位向上に向けて、継続的に取り組んでいきたいと思えます。

執行委員 入江 友規

今年2月下旬、ジャパニーズエクスプレス分会において、親会社である商船三井からの出向者で総務部長という肩書がありながら、管理職労組設立を企て、全港湾の組合員に「商船三井がジャパニーズエクスプレスの清算を行い、60名程度は他社が引き継ぐが全港湾組合員は、雇用できない」と吹聴、勧誘し、組合員の脱退が拡大している実態が発覚しました。

これは明らかに「黄犬契約」による不当労働行為です。さらに支配介入なども

向に事態の收拾を図ろうとしない親会社の無責任な態度から、責任追及の抗議活動を強化しています。

力を持った相手でも労働組合として断固としてたたき抜きます。

執行委員 鈴木 大介

8月から週2回、神戸港頭地区で宣伝カーによる抗議宣伝を行い、ポートアイランドにある商船三井(KICT)前では重点的に抗議宣伝を行っています。また10月からは、大阪港地区でも宣伝カーによる抗議行動を併せて行っています。



商船三井(KICT)前での抗議宣伝

私たちはこうした卑劣な不当労働行為に対し、いかなる権



### 新教宣部員紹介

今期から教宣部に入りました全日検神戸分会の河本です。学びと成長の場になりたいと思っています。よろしくお願ひします。

教宣部では分会員の方からも機関紙を制作する仲間を募集しています。一緒に「歩み」を作成しながら学びましょう！

## 分かるかな？

# 懸賞クイズ



### 【問題】

これは読めない。下記の読み方をすべて答えてください。

- |       |        |       |       |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 蝸牛 | 2. 信天翁 | 3. 海獺 | 4. 河豚 |
| 5. 蜻蛉 | 6. 人鳥  | 7. 熊貓 | 8. 土竜 |
| 9. 蛤  | 10. 海胆 |       |       |

633号の回答 「 C 」

7名の方から応募があり、全員が正解でした。抽選の結果、下記の5人の方にQ U Oカードを進呈します。

松井謙一(三林)、長野雄二(大運)、堀古知司・西野太基・藤井啓介(ジャパンEXP)、

634号の締め切り日は、11月20日(水)です。ふるってご応募ください。